

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：教育総務課] P. 379

0501 総務事務に要する経費 2,473,534 円 (2,958,406 円)

〈106,159 円〉※ 〈 〉 は、うち 6 年度繰越分

[その他 〈106,159 円〉 一財 2,367,375 円]

＊ 特財内訳

[繰越金：前年度繰越金 〈106,159 円〉]

○ 目的

教育委員会事務点検評価委員謝礼や消耗品費、事務機器使用料をはじめとした事務経費である。また、令和 6 年度に引き続き、令和 7 年度においても、戸頭小学校における学校徴収金等の不適切な会計処理に伴う未返還金の支払を進める。

○ 内容

経常的な支出以外での主な内容は次のとおり。

- ・ 損害賠償金（遅延損害金） 20 名分 87,718 円
- ・ 通信運搬費（戸頭小学校学校徴収金等未返還金の支払手続に係る郵送料）
17,946 円
- ・ 手数料（戸頭小学校学校徴収金等未返還金の支払手続に係る銀行振込手数料）
495 円

○ 効果

教育委員会の事務点検評価を適正に行うとともに、戸頭小学校における学校徴収金等の未返還金の支払ができた。

[担当：学務課] P. 383

2201 通学送迎に要する経費 17,621,514 円 (19,353,102 円)

[その他 11,460,000 円 一財 6,161,514 円]

＊ 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 11,460,000 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童生徒が安全に通学できる手段を確保する。

○ 内容

通学送迎委託料 15,765,200 円

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ・ 取手小学校・取手第一中学校（小堀地区） | 4,840,000 円 |
| ・ 取手東小学校（小文間地区） | 7,260,000 円 |
| ・ 永山小学校（市之代・貝塚地区） | 3,665,200 円 |

○ 効果

対象児童生徒に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

〔担当：学務課〕 P. 383

2301 教育情報機器整備に要する経費 227,969,347 円 (206,825,596 円)

〔国・県 5,977,000 円 その他 6,201,000 円 一財 215,791,347 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金 5,977,000 円〕

〔繰入金：学校施設整備基金繰入金 6,201,000 円〕

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うために、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。また、GIGA スクール構想の更なる進展のためにネットワーク環境管理や ICT 授業支援を行う。

○ 内容

小中学校において、児童生徒が ICT 機器を活用した授業及び教職員が校務事務を円滑に実施するために、教育委員会と学校が情報を共有する教育情報ネットワークを構築することで、事務の効率化と個人情報の保護を図った。

また、国が掲げる GIGA スクール構想の取組の一環として、インターネット通信の高速化とこれに伴うネットワーク機器の購入及び設定変更を行い、児童生徒の快適な学習環境の実現に向けた整備を図った。

・ ICT 活用教育支援スタッフ業務委託料	28,250,640 円
・ 教育センターシステムクラウド運用管理委託料	18,706,600 円
(うち、学習環境整備分 6,459,200 円)	
・ 教育センターシステムクラウド使用料	67,056,000 円
・ 教育用パソコンソフト使用料	9,030,364 円
・ 校務支援システム使用料	8,751,600 円
・ 指導者用タブレットパソコン使用料	23,628,000 円
・ 校務用パソコン使用料	39,996,000 円
・ ネットワーク機器購入 (学習環境整備分)	14,971,000 円

○ 効果

教育情報ネットワークの活用により、教育委員会と小中学校の事務の効率化と個人情報の保護が図られた。また、インターネット通信速度を向上させたことにより、児童生徒が遅延なく快適に学習できる環境を確保することができた。

1 教育総務費 3 育英事業費

〔担当：教育総務課〕 P. 385

2101 奨学生貸付金 2,640,000 円 (2,880,000 円)

〔その他 2,640,000 円〕

＊ 特財内訳

〔諸収入：奨学基金繰入金 2,640,000 円〕

○ 目的

能力があるにもかかわらず経済的な理由によって修学が困難な、大学・短期大学に入学・在学中又は高等専門学校第 4・第 5 学年に在学する学生に、学業に必要な資金を貸し付け、市民の高等教育の機会均等を図る。

○ 内容

貸付額 国公立大学等：月額 40,000 円、私立大学等：月額 50,000 円

(令和 6 年度までは国公立大学等：月額 30,000 円、私立大学等：月額 40,000 円)

貸付者数

大学等の種別	R7 (内 新規貸付)	R6 (内 新規貸付)	R5 (内 新規貸付)
国公立	0 名	0 名	0 名
私立	5 名 (1)	6 名 (0)	7 名 (3)
合計	5 名 (1)	6 名 (0)	7 名 (3)

○ 効果

経済的負担の軽減を通して教育の機会を拡大するとともに、未来を担う人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P.385

0501 教育振興に要する経費 72,909,511 円 (94,233,329 円)

[国・県 266,200 円 その他 562,263 円 一財 72,081,048 円]

* 特財内訳

[県補：原子力・エネルギー教育支援事業補助金 266,200 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 551,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 11,263 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の大きな社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育むことができるよう、英語指導助手との連携による授業、地域人材を活用した授業など、教育の充実を図る。

○ 内容

- ・手数料（英語指導助手派遣業務） 68,451,306 円

英語指導助手（ALT）15 人（小学校 8 人・中学校 7 人配置）の派遣を民間専門業者に依頼し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手と児童生徒との交流により国際教育の充実を図った。

- ・地域人材活用事業講師謝礼 304,000 円
- ・理科教育用教材購入 266,200 円
- ・デジタルカメラ購入 551,045 円

○ 効果

小学校では全ての外国語の授業で ALT を配置し、中学校では 1 校に 1 名以上の ALT を配置することにより、外国語に慣れ親しむ環境を提供し、外国語学習への意欲を高めることができた。また、学習指導要領外国語の言語活動の要となる「外国語による本物のコミュニケーション」を図ることができた。

[担当：指導課] P.387

1001 特別支援教育に要する経費 8,093,674 円 (6,386,634 円)

[その他 31,622 円 一財 8,062,052 円]

＊ 特財内訳

[諸収入：雇用保険料本人負担分 31,622 円]

○ 目的

特別な教育的支援を必要とする幼児・児童生徒を支援し、保護者や教職員からの相談に応じるとともに、市立小中学校の特別支援教育の充実を図る。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員等の配置

幼児の就学や適応に関する調査及び教職員や保護者に対する相談活動を行った。

・ 相談件数

区分	R7	R6
未就学児	98 件	122 件

(2) 教育支援委員会の実施

特別な教育的支援を必要とする幼児・児童生徒の適切な就学のため、医師・特別支援教育担当者等で構成する教育支援委員会において、適切な支援や学びの場についての審議を実施した。

・ 判定人数

区分	R7	R6
新学齢児	53 人	66 人
在学児童生徒	152 人	157 人

・ 特別支援教育相談員報酬（4 人分） 5,638,123 円

・ 発達検査謝礼 720,000 円

○ 効果

特別な教育的支援を必要とする幼児・児童生徒が抱える課題の早期発見により、幼児教育施設と小中学校が連携して適切な支援を行うことができた。

また、市立小中学校における特別支援教育に対する校内体制を充実させることができた。

【担当：指導課】 P. 389

2401 教育相談に要する経費 62,882,138 円（49,318,985 円）

[国・県 661,000 円 その他 105,062 円 一財 62,116,076 円]

＊ 特財内訳

[国補：地域生活支援事業補助金 441,000 円]

[県補：地域生活支援事業補助金 220,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 105,062 円]

○ 目的

令和 2 年 4 月より (1) 全員担任制（小学校はチーム指導）、(2) 教育相談部会システム、(3) 2 学期制からなる、取手市の新しい学校教育 3 つの取組を開始した。また、令和 6 年 7 月より不登校対応支援員を配置し、不登校を未然に防ぐための取組を開始した。

スクールカウンセラー・スーパーバイザーと学校連携支援員が、各学校の教育相談部会に参加し、児童生徒の悩みや困りごとに学校がチームで支援できるようサポートして

いく。また、学校教育相談員やスクールソーシャルワーカーにより適切な支援を行う。

○ 内容

・教育相談員報酬	10,009,265 円
・学校連携支援員報酬	5,979,496 円
・学校教育相談員報酬	7,320,477 円
・スクールソーシャルワーカー報酬	3,297,000 円
・いじめ問題専門委員会委員報酬	7,041,500 円
・不登校対応支援員報酬	1,752,188 円
・子どもと親の相談員謝礼	3,949,550 円
・教育資質・能力向上研修講師謝礼	836,000 円
・スクールロイヤー委託料	1,815,000 円
・スクールカウンセラー・スーパーバイザー支援業務委託料	9,214,040 円
・Q-U テスト実施業務委託料	2,830,608 円
・いじめ防止アプリ使用料	701,910 円

○ 効果

学校連携支援員を中心に各学校の教育相談部会に参加し、児童生徒の悩みや困りごとに学校がチームで対応できるようサポートすることができた。また、スクールカウンセラー・スーパーバイザー、スクールソーシャルワーカーが、専門的な支援を行うことで、教育相談部会システムの推進を図ることができた。

不登校対応支援員が、各学校に助言や支援を行い、不登校を未然に防ぐ取組を進めることができた。

取手市教職員一斉研修会では、東京理科大学教授の八並光俊先生を講師として、『生徒指導提要』に基づくいじめ防止に関する発達支持的生徒指導』について研修を行った。いじめ防止対策推進法に基づいたいじめ防止の実践について、教職員の理解を深めることができた。

〔担当：指導課〕 P.391

2501 特色ある新しい学校教育の推進に要する経費 5,973,165 円（5,095,734 円）

〔その他 4,180,000 円 一財 1,793,165 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 4,180,000 円〕

○ 目的

地域資産であるアートの取組を生かし、取手市ならではの特色ある新しい学校教育を創出する。

○ 内容

令和3年度より山王小学校は小規模特認校へ移行し、小学校6年間における「創造する力、表現する力」を育む新たな特色ある学校教育を展開し、市内から幅広く就学児童の受入れを行っている。

・アーティストと児童の交流事業委託料 5,973,165 円

〔となりのスタジオ〕

外国籍のアーティストが学校に短期滞在し、児童とアーティストが共に活動するス

タジオを開設する。子どもたちは英語の授業で習得した知識と経験を活用して、日本語を母語としないアーティストと対話をしたり、一緒に作業をしたりすることを通じて、多様な文化、創造のプロセスを体験する。

〔大地からはじまること〕

自然を芸術に取り入れているアーティストとの活動を通じて、自分たちの生活の周りに当たり前にある自然環境から、自分たちの手でものを生み出すことができることを体感する。校庭や学校周辺の土を採取すること、土を練ること、土器を作陶すること、薪を割ること、野焼き（焼成）することなどを通じて、教科等で得た知識を体験活動に生かすプログラムを実施する。

また、体験活動を通じて生じる疑問や課題について改めて探究するような、教科と体験活動との間の循環を創出するとともに、社会を理解する多様な視点や価値観への気づきを促す。プログラム設計に当たっては、異学年による取組、教職員、保護者、地域の方々との協働が生まれる運営設計を行う。

○ 効果

となりのスタジオでは、海外のアーティストとの交流を通じて、子どもたちが自由に発想したり多様な表現方法に触れたりすることができ、創造すること・表現することへの喜びを味わうとともに自信にもつながった。

大地からはじまることでは、身近な自然を素材にしたものづくりを通して、試行錯誤しながら自分らしい表現方法を見つける力を養った。

〔担当：指導課〕 P.391

4201 日本語指導員に要する経費 2,772,799 円 (2,586,905 円)

〔一財 2,772,799 円〕

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を通して、学校生活を支援する。

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者への通訳等

○ 内容

・日本語指導員報酬 2,618,969 円

年度	指導員数	支援対象児童生徒の言語の内訳
R7	6 人	中国語 4 人 ポルトガル語 1 人 英語 1 人
R6	7 人	中国語 4 人 ポルトガル語 2 人 英語 1 人

○ 効果

日本語指導員が支援することにより、帰国児童生徒及び外国人児童生徒の学校生活への適応が図られた。

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：子ども青少年課] P.393

1001 青少年健全育成に要する経費 11,274,324 円 (11,230,203 円)

[国・県 51,840 円 その他 17,145 円 一財 11,205,339 円]

＊ 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗等訪問業務補助金 51,840 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 17,145 円]

○ 目的

特別青少年相談員報酬、青少年相談員謝礼の支給、青少年育成団体等への助成を通じて、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を図る。

○ 内容

青少年センターでの相談業務の実施、非行防止を目的とした青少年相談員による巡回活動、地域間児童交流事業を展開する団体への補助金の交付、地域で子どもを見守る体制づくりに取り組む団体（こども食堂）に補助金を交付した。

＜地域間児童交流事業を展開する団体＞

・市子ども会育成連合会補助金 560,000 円

・青少年育成市民会議補助金 410,000 円

＜取手市みんなの補助金（協働提案型公募補助制度）＞

・こども食堂事業補助金 500,000 円

○ 効果

地域交流や異世代間交流事業を通じて、子どもたちの協調性や表現力の向上を促す取組を実施した。また、こども食堂では、学校や家庭とは異なる環境の中で、高校生やボランティアの方々と共に宿題や遊びなどを楽しみながら、温かい食事を提供する居場所づくりを支援することができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P.397

2001 小学校管理に要する経費 347,410,424 円 (313,161,011 円)

〈35,343,000 円〉※ 〈 〉 は、うち 6 年度繰越分

[国・県 〈11,588,000 円〉 地方債 〈23,000,000 円〉]

その他 18,160,155 円 〈755,000 円〉 一財 294,662,269 円]

＊ 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈11,588,000 円〉]

[市債：小学校施設整備事業債

〈(34,764,000 円－11,588,000 円) × 100% ÷ 23,000,000 円〉]

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 1,378,486 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 690,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 14,833,000 円]

[繰越金：前年度繰越金 〈755,000 円〉]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 157,820 円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 345,849 円]

○ 目的

教育環境の充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ「確かな学力」へとつなげる。

○ 内容

- ・学校活性化 TT 講師報酬 7,938,453 円
小学校 8 校（永山小、取手西小、戸頭小、山王小、六郷小、宮和田小、久賀小、桜が丘小）に TT（ティームティーチング）講師を配置し、課題別学習や多様な学習、個々に応じた学習を行い、児童の基礎学力の定着を図った。
- ・教育補助員報酬 98,230,322 円
教育補助員を全小学校に配置し、児童の学校生活の支援を行った。
- ・学校司書報酬 16,939,642 円
学校司書を全小学校に配置し、学校図書室の整備を図った。
- ・遊具更新工事 〈35,343,000 円〉
小学校 4 校（取手東小、寺原小、戸頭小、山王小）の老朽化した遊具を更新した。

○ 効果

- ・TT 講師の配置により個々に応じた対応ができ、基礎的な学力の定着が図られた。
- ・教育補助員を配置することで、児童の学校生活を支援することができた。
- ・学校司書を配置することで、学校図書室の充実が図られた。
- ・小学校の遊具を更新することで、児童に対して安全な遊具を提供することができた。

〔担当：保健給食課〕 P. 401

2201 小学校保健衛生に要する経費 28,665,185 円（26,115,433 円）

〔国・県 766,270 円 その他 1,742,480 円 一財 26,156,435 円〕

* 特財内訳

〔国補：医療施設運営費等補助金 379,000 円〕

〔国補：要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 67,270 円〕

〔県補：教育支援体制整備事業費補助金 320,000 円〕

〔負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 1,742,480 円〕

○ 目的

健康診断の実施や学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校医（学校産業医）及び学校歯科医、学校薬剤師の報酬 13,146,000 円

区分	学校医（うち学校産業医）	学校歯科医	学校薬剤師
人数	24 名（14 名）	22 名	14 名

- ・児童・教職員集団検診委託料 5,312,747 円

児童

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	4 学年	1 学年	精密検査対象者	4 学年
R7	4,151 人	436 人	743 人	9 人	433 人
R6	4,202 人	496 人	662 人	11 人	496 人

教職員

区分	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
R7	98 人	99 人	6 人	96 人	98 人	99 人
R6	87 人	88 人	10 人	87 人	87 人	88 人

- ・教職員の「心の健康チェック」（ストレスチェック）の実施 603,790 円
- ・学校環境衛生検査の実施（簡易専用水道検査） 231,000 円
- ・フッ化物洗口の実施（取手小・藤代小） 972,190 円

○ 効果

児童及び教職員の健康の保持増進が図られた。

2 小学校費 2 教育振興費

〔担当：学務課〕 P. 403

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 27,139,084 円（27,640,747 円）

〔国・県 699,000 円 その他 18,290,000 円 一財 8,150,084 円〕

* 特財内訳

〔国補：理科教育設備整備費等補助金 699,000 円〕

〔寄附金：教育費寄附金 200,000 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 18,090,000 円〕

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

- ・各学校に探検バッグを配置した。3,388,000 円
- ・児童用教材、図書及び理科教材を整備した。

（単位：円）

区分	児童用教材	理科教材	図書	合計
R7	8,812,028	2,743,044	10,960,442	22,515,514
R6	7,670,317	2,953,673	11,115,599	21,739,589

○ 効果

各教科の指導を進める上で不可欠な児童用教材、図書及び理科教材を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

また、各学校に探検バッグを配置することで、保護者の負担軽減が図られた。

〔担当：学務課〕 P. 403

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 265,815,698 円（6,336,990 円）

〔国・県 169,804,000 円 その他 88,594,000 円 一財 7,417,698 円〕

* 特財内訳

〔県補：公立学校情報機器整備事業費補助金 169,804,000 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 88,594,000 円〕

○ 目的

GIGA スクール構想の更なる進展のため、児童用タブレット端末の更新により、「個別

最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

○ 内容

- ・タブレット端末設定委託料 21,225,600 円
- ・児童用タブレット端末購入 237,173,200 円

○ 効果

児童用タブレット端末の更新を行ったことにより、次年度以降も ICT を活用した教育を継続して円滑に実施できる体制が整った。

〔担当：学務課〕 P.405

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 39,961,896 円（43,154,086 円）

〔国・県 4,201,000 円 一財 35,760,896 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：特別支援教育就学奨励費補助金 4,201,000 円〕

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・ 要保護・準要保護児童就学援助者数（在校生）

区分	要保護数	準要保護数	合 計
R7	8 人	411 人	419 人
R6	15 人	429 人	444 人

・ 入学準備金支給者数

区分	申請者数	支給者数
R7	64 人	55 人
R6	68 人	59 人

・ 特別支援教育就学奨励者数

区分	在籍者数	該当者数
R7	354 人	261 人
R6	351 人	252 人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

2 小学校費 3 学校建設費

〔担当：教育総務課〕 P.405

2101 小学校施設整備に要する経費 944,965,932 円（27,683,055 円）

〔地方債 941,600,000 円 その他 590,150 円 一財 2,775,782 円〕

＊ 特財内訳

〔市債：緊急防災・減災事業債 941,666,000 円×100%÷941,600,000 円〕

〔諸収入：引込高压ケーブル交換工事協力金 590,150 円〕

○ 目的

小学校体育館に空調設備を設置することで、夏季における児童の熱中症リスクの低減及び避難所開設時の居住環境の整備を図る。

また、各小学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

・空調設備設置工事	941,666,000 円
・施設管理営繕工事	2,884,640 円
・消耗品費	415,292 円

○ 効果

小学校体育館に空調設備の設置を行うことにより、児童の教育環境の充実及び避難所開設時の居住環境の整備を図ることができた。

また、各小学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図ることができた。

〔担当：教育総務課〕 P. 405

2203 小学校建設事業に要する経費（白山小学校）

1,524,483,600 円（410,478,000 円）

〈1,369,920,000 円〉※〈 〉は、うち6年度繰越分

〔国・県 123,702,000 円〈102,178,000 円〉 地方債 1,338,000,000 円〈1,236,300,000 円〉
その他 50,810,000 円〈20,995,000 円〉 一財 11,971,600 円〕

＊ 特財内訳

〔国負：公立学校施設整備費負担金 30,748,000 円〈9,224,000 円〉〕

〔国補：学校施設環境改善交付金〈92,954,000 円〉〕

〔市債：小学校施設整備事業債 1,338,000,000 円〈1,236,300,000 円〉〕

〔繰入金：学校施設整備基金繰入金 29,815,000 円〕

〔繰越金：前年度繰越金〈20,995,000 円〉〕

○ 目的

白山小学校校舎及び体育館の長寿命化改良工事を行い、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

・敷地測量業務委託料	440,000 円
・小学校校舎・体育館長寿命化改良工事監理業務委託料	〈41,545,000 円〉
・小学校校舎・体育館長寿命化改良工事	1,481,414,000 円〈1,328,375,000 円〉
・長寿命化改良工事に伴うガス引込補償費	1,084,600 円

○ 効果

前年度に引き続き白山小学校校舎及び体育館の長寿命化改良工事の第3期工事として校舎の長寿命化改良工事等を行うとともに、最終期となる第4期工事として給食室の長寿命化改良工事等を行い、安全かつ快適な教育環境の整備が図られた。

〔担当：教育総務課〕 P. 405

2204 小学校建設事業に要する経費（取手東小学校） 10,175,000 円（0 円）

〔地方債 7,600,000 円 その他 2,575,000 円〕

＊ 特財内訳

[市債：小学校施設整備事業債 10,175,000 円×75%≒7,600,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 2,575,000 円]

○ 目的

取手東小学校の老朽化対策及び利便性を確保するための体育館長寿命化改良工事及び校舎改修工事等に伴う実施設計を行い、令和8年度の着工に向けて準備を進める。

○ 内容

・体育館長寿命化改良・校舎改修工事实施設計業務委託料 10,175,000 円

○ 効果

取手東小学校の老朽化対策及び利便性を確保するための体育館長寿命化改良工事及び校舎改修工事等に伴う実施設計を行い、令和8年度の工事が速やかに着工できる準備が整った。

[担当：教育総務課] P.407

2213 小学校建設事業に要する経費（高井小学校） 439,065,000 円（469,260,000 円）

〈439,065,000 円〉※〈 〉は、うち6年度繰越分

[国・県〈70,919,000 円〉 地方債〈347,400,000 円〉 その他〈19,904,000 円〉

一財 842,000 円]

＊ 特財内訳

[国負：公立学校施設整備費負担金〈55,755,000 円〉]

[国補：学校施設環境改善交付金〈15,164,000 円〉]

[市債：小学校施設整備事業債〈216,000,000 円〉]

[市債：防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債〈1,800,000 円〉]

[市債：合併特例債〈129,600,000 円〉]

[繰越金：前年度繰越金〈19,904,000 円〉]

○ 目的

高井小学校の児童数増加により、普通教室の不足が見込まれることから、校舎の増築を行い、児童等が支障なく学校生活を送れる環境を整備する。

また、校庭の拡張や遊具の更新等を行い、児童等が安心して利用することができる屋外環境を整備する。

○ 内容

・校舎増築工事監理業務委託料 〈17,545,000 円〉

・校舎増築工事 〈312,840,000 円〉

・校庭整備工事 〈108,680,000 円〉

○ 効果

校舎の増築を行うことにより、児童数の増加に対応した教育環境の充実が図られた。

また、校庭の拡張や遊具の更新等を行うことにより、児童等が安心して利用できる屋外環境の整備が図られた。

2 小学校費 4 学校給食費

〔担当：保健給食課〕 P.407

2001 給食運営に要する経費 353,627,651 円 (336,389,825 円)

〔その他 172,865,073 円 一財 180,762,578 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 20,300,000 円〕

〔諸収入：小学校給食代自校分 152,493,185 円〕

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 34,565 円〕

〔諸収入：廃食用油売却代 37,323 円〕

○ 目的

児童に安全な食材による給食を提供することで、望ましい食習慣の形成を図るとともに、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

- ・ 賄材料費 158,639,000 円
- ・ 委託料 152,677,328 円

項目	内容	金額（円）
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃（8校）	1,055,000
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託（8校）	133,250,700
給食運搬業務委託料	白山小学校長寿命化改良工事に伴う 給食センター給食運搬業務委託	9,471,000
給食用備品移設業務委託料	白山小学校長寿命化改良工事に伴う 給食用備品移設業務委託	825,000
学校給食室施設管理業務委託料	学校給食室施設（センター受配校配 膳室含む）の総合管理委託（14校） ・小荷物専用昇降機保守点検 ・給食室用換気設備清掃 ・病虫害防除 ・給食室空調設備保守点検 ・調理器具・設備等の簡易修繕ほか	8,075,628

- ・ 備品購入費 10,626,385 円

項目	内容	金額（円）
給食用備品	白山小学校長寿命化改良工事に伴う 給食センター受配対応備品 ・消毒保管庫 ・配送用コンテナ ・配膳用ワゴン ・配送通路用テント	10,626,385

○ 効果

各種設備等の清掃や保守点検等を総合管理委託することにより、迅速かつ適正な施設運営を図ることができた。また、地産地消食材を使用した献立やSDGs 献立による給食を提供し、児童に給食を通して食への関心を深めることができた。

[担当：保健給食課] P.409

2003 物価高騰に伴う給食費負担軽減事業に関する経費 43,341,428 円

(31,063,318 円)

〈43,011,000 円〉※〈 〉は、うち6年度繰越分

[国・県 36,556,000 円 〈36,268,000 円〉 その他 〈6,743,000 円〉 一財 42,428 円]

＊ 特財内訳

[国補：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 288,000 円]

[国補：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 〈36,268,000 円〉]

[繰越金：前年度繰越金 〈6,743,000 円〉]

○ 目的

食材費が高騰する中、保護者に負担増を求めず現在の栄養のバランスや質、量を保った給食を提供する。

○ 内容

・賄材料費 43,341,428 円

○ 効果

食材の価格高騰による影響を給食費に転嫁することを避けながら、給食の質と量を維持し、学校給食を提供することができた。

[担当：保健給食課] P.409

2101 給食施設整備に要する経費 8,855,176 円 (7,331,148 円)

[その他 3,570,000 円 一財 5,285,176 円]

＊ 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 3,570,000 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

・修繕料（施設や給食室内機器等の修繕） 6,281,616 円

・備品購入費 2,573,560 円

項目	内容	金額（円）
給食用備品	・寺原小学校ガスフライヤー ・永山小学校卓上野菜調理機 ・寺原小学校調理員休憩室エアコン ・配膳台 ・作業台	2,573,560

○ 効果

給食室・配膳室内の衛生管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P.411

2001 中学校管理に要する経費 96,730,920 円 (94,821,900 円)

[その他 6,478,318 円 一財 90,252,602 円]

＊ 特財内訳

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 469,624 円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 98,910 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,783,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 61,910 円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 64,874 円]

○ 目的

教育環境の充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ「確かな学力」へとつなげる。

○ 内容

- ・教育補助員報酬 3,092,225 円

教育補助員を 3 校（取手第二中学校、永山中学校、藤代中学校）に配置し、生徒の学校生活の支援を行った。

- ・学校司書報酬 6,316,245 円

学校司書を全中学校に配置し、学校図書室の整備を図った。

○ 効果

- ・教育補助員を配置することで、生徒の学校生活を支援することができた。
- ・学校司書を配置することで、学校図書室の充実が図られた。

【担当：保健給食課】 P.415

2201 中学校保健衛生に要する経費 15,202,872 円（14,040,368 円）

[国・県 36,950 円 その他 878,600 円 一財 14,287,322 円]

＊ 特財内訳

[国補：要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 36,950 円]

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 878,600 円]

○ 目的

健康診断の実施や、学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校医（学校産業医）及び学校歯科医、学校薬剤師の報酬 6,692,000 円

区分	学校医（うち学校産業医）	学校歯科医	学校薬剤師
人数	13 名（6 名）	11 名	6 名

- ・生徒・教職員集団検診委託料 4,216,652 円

生徒

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2 学年	1 学年	精密検査対象者	2 学年
R7	2,118 人	460 人	744 人	2 人	461 人
R6	2,168 人	521 人	723 人	5 人	521 人

教職員

区分	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
R7	58 人	58 人	5 人	57 人	58 人	58 人
R6	55 人	55 人	5 人	54 人	55 人	55 人

- ・教職員の「心の健康チェック」(ストレスチェック)の実施 135,520 円
- ・学校環境衛生検査の実施(簡易専用水道検査) 99,000 円

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図られた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務課] P.417

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 15,620,580 円(16,887,454 円)

[国・県 600,000 円 その他 8,560,000 円 一財 6,460,580 円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 600,000 円]

[寄附金：教育費寄附金 200,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 8,360,000 円]

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

- ・生徒用教材、図書及び理科教材を整備した。

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図書	合計
R7	5,025,721	2,044,903	6,931,280	14,001,904
R6	5,520,939	1,626,187	7,324,560	14,471,686

○ 効果

各教科の指導を進める上で不可欠な生徒用教材、図書及び理科教材を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務課] P.417

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 136,247,214 円(1,644,654 円)

[国・県 87,402,000 円 その他 45,600,000 円 一財 3,245,214 円]

* 特財内訳

[県補：公立学校情報機器整備事業費補助金 87,402,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 45,600,000 円]

○ 目的

GIGA スクール構想の更なる進展のため、生徒用タブレット端末の更新により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

○ 内容

- ・タブレット端末設定委託料 10,925,200 円

・生徒用タブレット端末購入 122,077,120 円

○ 効果

生徒用タブレット端末の更新を行ったことにより、次年度以降も ICT を活用した教育を継続して円滑に実施できる体制が整った。

〔担当：学務課〕 P.419

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 32,484,937 円（35,877,742 円）

〔国・県 2,960,000 円 一財 29,524,937 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：要保護生徒就学援助費補助金 60,000 円〕

〔国補：特別支援教育就学奨励費補助金 2,900,000 円〕

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護・準要保護生徒就学援助者数（在校生）

区分	要保護数	準要保護数	合計
R7	13 人	213 人	226 人
R6	16 人	250 人	266 人

・入学準備金支給者数

区分	申請者数	支給者数
R7	89 人	75 人
R6	80 人	80 人

・特別支援教育就学奨励者数

区分	在籍者数	該当者数
R7	154 人	118 人
R6	115 人	84 人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

〔担当：指導課〕 P.419

2401 中学校部活動指導員配置事業に要する経費 3,459,469 円（2,834,499 円）

〔国・県 2,021,000 円 その他 5,012 円 一財 1,433,457 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：中学校部活動指導員配置事業費補助金 1,010,000 円〕

〔県補：中学校部活動指導員配置事業費補助金 1,011,000 円〕

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 5,012 円〕

○ 目的

専門的技術の高い外部指導者を任用し、持続可能な部活動の円滑な運営と生徒の競技

力向上を目指す。

○ 内容

市内 6 中学校に 12 人の部活動指導員を配置し、生徒が専門的な技術の指導を受ける機会を確保した。

・ 中学校部活動指導員報酬	3,270,944 円
・ 費用弁償	166,525 円

○ 効果

外部指導者の専門的な技術指導や助言を受けることにより、生徒の競技に対する意欲や競技力が向上した。また、競技に対して経験が豊富なことから、安全面の指導を的確に行うことができた。

〔担当：指導課〕 P.419

2901 中学校特別活動助成に要する経費 23,976,605 円 (21,635,239 円)

〔その他 13,320,000 円 一財 10,656,605 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 13,320,000 円〕

○ 目的

音楽発表、体育大会等を通して生徒の音楽やスポーツへの活動意欲を高める。

○ 内容

・ 音楽コンクール参加負担金	757,000 円
・ 中学校体育連盟補助金（総体等運営経費）	494,000 円
・ 市内体育大会補助金（新人体育大会バス代半額補助）	5,044,305 円
・ 関東大会補助金（大会参加費・交通費・宿泊費補助）	1,364,168 円
・ 全国大会補助金（大会参加費・交通費・宿泊費補助）	63,000 円
・ 大会派遣用自動車借上料・楽器運搬費	16,227,484 円

○ 効果

音楽コンクール、体育大会等への参加により、生徒の音楽やスポーツへの関心が高まり、活動意欲の向上が図られた。

3 中学校費 3 学校建設費

〔担当：教育総務課〕 P.419

2001 中学校施設整備に要する経費 556,515,970円 (12,491,030円)

〔地方債 554,900,000円 一財 1,615,970円〕

＊ 特財内訳

〔市債：緊急防災・減災事業債 554,918,000円×100%≒554,900,000円〕

○ 目的

中学校体育館及び武道場に空調設備を設置することで、夏季における生徒の熱中症リスクの低減及び避難所開設時の居住環境の整備を図る。

また、各中学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

・ 空調設備設置工事	554,918,000円
・ 施設管理営繕工事	1,360,810円

・ 消耗品費 237,160円

○ 効果

一部の中学校において受変電設備の納期に不測の日数を要し、翌年度へ工期が延長されたものの、中学校体育館及び武道場に空調設備の設置を行うことにより、生徒の教育環境の充実及び避難所開設時の居住環境の整備を図ることができた。

また、各中学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図ることができた。

〔担当：教育総務課〕 P.421

2104 中学校建設事業に要する経費（永山中学校） 458,347,000円（11,385,000円）

〈458,347,000円〉※〈 〉は、うち6年度繰越分

〔国・県〈62,272,000円〉 地方債〈390,300,000円〉 その他〈5,775,000円〉〕

＊ 特財内訳

〔国補：学校施設環境改善交付金〈62,272,000円〉〕

〔市債：中学校施設整備事業債〈386,700,000円〉〕

〔市債：防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債〈3,600,000円〉〕

〔繰越金：前年度繰越金〈5,775,000円〉〕

○ 目的

永山中学校の生徒数増加により教室の不足が見込まれることから、教室数を確保するための改修工事等を行い、生徒等が支障なく学校生活を送れる環境を整備する。

○ 内容

・ 校舎・体育館改修工事監理業務委託料 〈15,400,000円〉

・ 校舎・体育館改修工事 〈442,947,000円〉

○ 効果

校舎改修や駐車場・テニスコート整備等の改修工事を行うことにより、生徒数の増加に対応した教育環境の充実が図られた。

3 中学校費 4 学校給食費

〔担当：保健給食課〕 P.421

2001 給食運営に要する経費 180,449,240円（180,706,194円）

〔その他 87,932,047円 一財 92,517,193円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 910,000円〕

〔諸収入：中学校給食代自校分 86,999,430円〕

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 22,617円〕

○ 目的

生徒に安全な食材による給食を提供することで、望ましい食習慣の形成を図るとともに、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

・ 賄材料費 89,319,000円

・ 委託料 78,714,288円

項目	内容	金額（円）
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃（4校）	540,000
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託（4校）	72,306,520
学校給食室施設管理業務委託料	学校給食室施設（センター受配校配膳室含む）の総合管理委託（6校） ・小荷物専用昇降機保守点検 ・給食室用換気設備清掃 ・病虫害防除 ・給食室空調設備保守点検 ・調理器具・設備等の簡易修繕ほか	5,867,768

○ 効果

各種設備等の清掃や保守点検等を総合管理委託することにより、迅速かつ適正な施設運営を図ることができた。また、地産地消食材を使用した献立やSDGs 献立による給食を提供し、生徒に給食を通して食への関心を深めることができた。

【担当：保健給食課】 P.423

2003 物価高騰に伴う給食費負担軽減事業に関する経費 32,749,885 円

(14,141,000 円)

〈25,029,000 円〉※〈 〉は、うち6年度繰越分

〔国・県 25,489,000 円〈18,772,000 円〉 その他〈6,257,000 円〉 一財 1,003,885 円〕

* 特財内訳

〔国補：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 6,717,000 円〕

〔国補：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金〈18,772,000 円〉〕

〔繰越金：前年度繰越金〈6,257,000 円〉〕

○ 目的

食材費が高騰する中、保護者に負担増を求めず現在の栄養のバランスや質、量を保った給食を提供する。

○ 内容

・賄材料費 32,749,885 円

○ 効果

食材の価格高騰による影響を給食費に転嫁することを避けながら、給食の質と量を維持し、学校給食を提供することができた。

【担当：保健給食課】 P.423

2101 給食施設整備に要する経費 1,801,523 円 (4,568,821 円)

〔その他 1,028,000 円 一財 773,523 円〕

* 特財内訳

〔繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,028,000 円〕

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

・修繕料（施設や給食室内機器等の修繕） 324,223 円

・備品購入費 1,477,300 円

項目	内容	金額 (円)
給食用備品	・取手第一中学校牛乳保冷库 ・配膳台 ・L 型運搬台車 ・作業運搬台車	1,477,300

○ 効果

給食室・配膳室内の衛生管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

〔担当：保健給食課〕 P.427

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 654,768 円 (652,342 円)

〔その他 1,782 円 一財 652,986 円〕

＊ 特財内訳

〔負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 1,782 円〕

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断を実施し、園児の健康の保持増進を図る。

○ 内容

・園医及び園歯科医、園薬剤師の報酬 570,000 円

区分	園医	園歯科医	園薬剤師
人数	1 名	1 名	1 名

・幼児・教職員集団検診委託料 3,993 円

区分	腎臓検診
R7	11 人
R6	17 人

○ 効果

園児の健康の保持増進が図られた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

〔担当：生涯学習課〕 P.431

2201 生涯学習推進に要する経費 1,845,055 円 (2,246,065 円)

〔国・県 40,000 円 その他 744,200 円 一財 1,060,855 円〕

＊ 特財内訳

〔県補：地域で支える家庭の教育力向上事業費補助金 40,000 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 560,000 円〕

〔諸収入：市民大学講座受講料 184,200 円〕

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、多様な分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を目指す。また、家庭教育学級を設置することにより、家庭の教育力向上を図る。

○ 内容

(1) 出前講座

市民の「知りたい・聞きたい・学びたい」という知的探求心に応えるため、とりで学遊プラザリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き、講座を実施した。

派遣分野	回数	受講者数
リーダーバンク編	7	118 人
行政編	52	1,311 人
合計	59	1,429 人

(2) 市民大学

・市民大学講座

市民が誰でも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、各分野の専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。

講座名／講師名	開催日	受講者数
「わかりやすい源氏物語」 ～宇治十帖（愛と道心のはざまに）～ 講師 聖徳大学オープンアカデミー講師 赤塚 雅己 氏	8 月 19 日（火） ～ 8 月 29 日（金） （4 回講座）	157 人
『目で見える取手の歩み』講座（その 4） 講師 取手市埋蔵文化財センター職員	10 月 16 日（木） ～ 11 月 12 日（水） （3 回講座）	159 人
「世界遺産への旅」（安心の海外旅行） 講師 元東急観光グアム駐在所長 京免 宣昭 氏	2 月 17 日（火） ～ 3 月 5 日（木） （5 回講座）	116 人

・東京大学 EMP 特別講座

東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム（東大 EMP）の協力のもと、東京大学で知の最先端の研究を行っている教授陣による講座を開講した。

講座名／講師名	開催日	受講者数
不確実性の時代の子育て・教育とは？ 講師：東京大学先端科学技術研究センターシニアリサーチフェロー 中邑 賢龍 氏	8 月 26 日（火）	140 人
ウイルスは役に立つ 講師：東京大学名誉教授 甲斐 智恵子 氏	10 月 14 日（火）	209 人
徳川日本の面白さ 講師：東京大学名誉教授 渡辺 浩 氏	11 月 17 日（月）	296 人
取手から宇宙の果てへ、宇宙の姿を俯瞰する 講師：東京大学 EMP 特任准教授 高梨 直紘 氏	2 月 19 日（木）	323 人

・市民大学特別講演会

講座名／講師名	開催日	受講者数
足し算で生きる 講師：フリーアナウンサー 笠井 信輔 氏	3 月 18 日（水）	281 人

・市民大学特別講座

講座名／講師名	開催日	受講者数
プログラミング講座 講師：プラチナマイスター（プラチナ未来スクール）、大学生スタッフ	4 月 8 日（火） ～ 3 月 17 日（火） （年 31 回）	13 人

(3) 家庭教育学級

市立幼稚園・小中学校に通う児童生徒の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として、社会教育指導員の指導により家庭教育学級全体研修会を実施した。（参加者数 48 人）

○ 効果

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進することができた。

市民大学講座では、市民が関心を持っている分野について、専門講師陣が講義を行うことで、専門的な知識を習得する機会を提供することができた。

家庭教育学級全体研修会では、「イライラを自分でコントロールできる子の育て方」と「性教育と子どもの思春期～今、知りたい子どもの性教育～」をテーマにした研修会をそれぞれ開催し、家庭での教育力の向上を図った。

〔担当：生涯学習課〕 P.433

2401 コミュニティ・スクール事業に要する経費 5,683,093 円（5,118,522 円）

〔国・県 1,648,000 円 一財 4,035,093 円〕

＊ 特財内訳

〔県補：地域の教育支援体制等構築事業費補助金 1,648,000 円〕

○ 目的

学校運営協議会の設置により各学校がコミュニティ・スクールとなり、地域と学校が一体となって、子どもを育む環境を構築することを目的とする。

○ 内容

学校運営協議会が設置された全ての市立小中学校で、学校と地域住民が、学校の基本方針や教育活動などについて協議・連携することで、児童生徒のより良い環境づくりに対する取組を推進した。

また、コミュニティ・スクール支援のため、文部科学省 CS マイスターの安齋宏之氏を講師として招き、学校関係者、地域住民、保護者などを対象に研修会を開催した。

・令和 7 年度市主催研修会

研修会名	日付	会場	内容
令和 7 年度学校運営協議会 公民館長研修会	4 月 23 日（水） 10：00～12：00	藤代公民館	学校運営協議会について

令和7年度学校運営協議会 管理職者研修会 (学校長・教頭向けに実施)	4月23日(水) 13:30~15:30	藤代公民館	学校運営協議会のあり方、 役割、地域との連携について
民生委員児童委員協議会 (民生委員向けに実施)	5月10日(土) 11:00~12:00	福祉交流センター 多目的ホール	コミュニティ・スクールについて
第1回 学校運営協議会一括研修会 (新規委員向けに実施)	5月15日(木) 10:00~12:00	取手市役所 藤代庁舎 大会議室	コミュニティ・スクールの 概要について
第2回 学校運営協議会一括研修会 (新規委員向けに実施)	6月25日(水) 10:00~12:00	福祉会館 講座室A・B	協議会の進め方・熟議に 関する研修
学校運営協議会全体研修会 (全委員向けに実施)	6月25日(水) 13:30~15:30	市民会館	地域学校協働活動の発展・ 充実について
第3回 学校運営協議会一括研修会 (新規委員向けに実施)	9月19日(金) 13:30~15:30	取手市役所 藤代庁舎 大会議室	学校評価に関する研修
第4回 学校運営協議会一括研修会 (新規委員向けに実施)	10月24日(金) 13:30~15:30	取手市役所 藤代庁舎 大会議室	学校評価と学校の基本方針 の承認について

・各校の取組

令和7年度は、各実施校で4~5回程度学校運営協議会を開催し、協議を重ねた結果、保護者や地域住民による子どもたちのより良い成長を支えるための取組が実施された。

○ 効果

市内全公立小中学校がコミュニティ・スクールとなったことで、学校と地域社会が密接に連携し、教育活動の充実を図ることが可能となった。

【担当：文化芸術課】 P.433

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 4,263,298 円 (4,562,679 円)

[その他 2,011,000 円 一財 2,252,298 円]

＊ 特財内訳

[繰入金：地域振興基金繰入金 1,750,000 円]

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 261,000 円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を支援するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第50回 取手美術作家展	6/14~6/24 (11日間)	市内外で活躍する郷土作家37名、物故作家3名による作品展。ギャラリーツアー・ワークショップも開催。 会場：とりでアートギャラリー 委託先：取手美術作家展 委託料：900,000 円	2,083 人

第 56 回 取手市民美術展	10/24～12/14 (うち 30 日間)	市民の作品展。日本画、洋画、彫刻・立体の部 64 点、写真、書、工芸、デザインの部 72 点(招待作品を含む)、小中学生の部 1,178 点。 会場：とりでアートギャラリー 審査謝礼：145,000 円	5,705 人
取手市文化祭	11/1～11/3 (3 日間)	伎芸(ぎげい)発表と作品展を開催。 会場：取手市民会館・福祉会館 委託先：取手市文化連盟 委託料：1,000,000 円	5,166 人 (参加者を含む)
取手市藤代 文化祭	10/19～11/9 (うち 7 日間)	作品展、体験教室、舞台発表、囲碁・将棋大会、茶会を開催。 会場：藤代公民館 委託先：取手市藤代文化協会 委託料：600,000 円	1,830 人 (参加者を含む)
とりで スクール・アートフェスティバル	1/9～1/13 (5 日間)	市内にある全日制高等学校全 7 校の芸術教育の作品や演奏の発表。 会場：取手市民会館、とりでアートギャラリー 委託先：とりで スクール・アートフェスティバル実行委員会 委託料：171,947 円	710 人

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額
よいなかまの会	15,000 円
取手少年少女合唱団	80,000 円
取手市文化連盟	288,000 円
取手市藤代文化協会	210,000 円
国際音楽の日コンサート	200,000 円

○ 効果

市民の文化活動及び芸術活動を支援し、活性化を図り市民文化の向上と発展に寄与した。

〔担当：文化芸術課〕 P.435

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 102,707,184 円(136,000,213 円)

〔一財 102,707,184 円〕

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図る。

○ 内容

(1) 委託料

平成 18 年度から市民会館・福祉会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者：公益財団法人取手市文化事業団

指定管理委託料：101,874,000 円

年度	施設名	使用件数	入場者数 利用者数	稼働率
R7	市民会館	235 件	58,870 人	72.8%
	福祉会館	8,457 件	127,609 人	100%
R6	市民会館	218 件	44,723 人	71.1%
	福祉会館	8,609 件	125,639 人	100%

(2) 修繕料：731,500 円

市民会館の設備において、不具合を解消するため早急に修繕を行った。

- ・トイレ配水管漏水修繕 264,000 円
- ・舞台照明設備修繕 467,500 円

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し、文化芸術の振興に寄与した。

〔担当：文化芸術課〕 P.435

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 11,169,720 円 (6,665,117 円)

〔その他 7,980,000 円 一財 3,189,720 円〕

* 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,150,000 円〕

〔繰入金：地域振興基金繰入金 2,830,000 円〕

〔諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 2,000,000 円〕

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を生かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の推進を図る。

○ 内容

(1) 東京芸術大学 取手市長賞

市長賞賞賜金：2,000,000 円 (500,000 円×4 人)

第 74 回東京芸術大学卒業・修了作品展における優秀美術作品 2 点 (油画・工芸)、及び音楽分野の優秀者 2 人 (コントラバス・チェンバロ) に市長賞を授与した。

種類	作品名	作者／受賞者
油画	叉路	川村照乃
工芸 (彫金)	野に咲く	高原彩夏
器楽専攻弦楽研究分野 コントラバス		桑原孝太郎
器楽専攻古楽研究分野 チェンバロ		前川陽香

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

東京芸術大学の学生等が、市立小中学校で美術又は音楽の指導を行う事業。

小学校 14 校で美術指導を、中学校 6 校で吹奏楽部への音楽指導を実施した。

委託料：小学校 (美術) 指導 2,402,400 円 (派遣人数延べ 140 人)

委託料：中学校 (音楽) 指導 1,647,360 円 (派遣人数延べ 88 人)

(3) 東京芸術大学との連携によるコンサート

出演者謝礼：304,000 円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
7/5	藤代公民館 講堂	東京芸術大学学生による金管五重奏	5 人	262 人
12/13	市民会館 大ホール	令和 6 年度取手市長 賞受賞者（ピアノ・オペラ）によるコンサート	3 人	285 人
2/5	取手ウェルネス スプラザ 多目的ホール	（東京芸術大学）妊産 婦向けコンサートフルート四重奏	4 人	102 人

委託料：4,494,220 円

開催日	会場	内容	入場者数
2/21	市民会館 大ホール	東京芸術大学フィルハーモニア 管弦楽団演奏会	995 人

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、質の高い芸術を身近に触れられる他市町村にはない特色ある貴重な事業である。市民、児童生徒及び学校関係者にも大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

〔担当：文化芸術課〕 P.437

3301 アートのあるまちづくり推進に要する経費 21,412,817 円（34,683,122 円）

〈2,000,000 円〉※〈 〉は、うち 6 年度繰越金

〔その他 16,660,620 円〈2,000,000 円〉 一財 4,752,197 円〕

* 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,600,000 円〕

〔繰入金：地域振興基金繰入金 2,260,000 円〕

〔繰越金：前年度繰越金〈2,000,000 円〉〕

〔諸収入：取手アートプロジェクト貸付金元利収入 1,350,000 円〕

〔諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 131,000 円〕

〔諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 5,019,120 円〕

〔諸収入：絵はがき売却代 500 円〕

〔諸収入：損害賠償保険金 300,000 円〕

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を生かし、東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用し、他市町村にはない文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

○ 内容

(1) 取手音楽の日「取手ジャズフェスティバル」

委託料：3,150,000 円（公益財団法人取手市文化事業団）

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
5/3、4	市民会館 屋外特設会場	アマチュア無料公演	16 組	4,448 人
11/22	市民会館 大ホール	プロ有料公演	1 組	738 人

(2) 取手の芸術活動連携サポート

委託料：770,000 円（NPO 法人取手アートプロジェクトオフィス）

- ・ウェブサイト「ART LIVES TORIDE」におけるコンテンツ拡充
- ・市内活動芸術家の要望に関するレポートの作成
- ・アーティスト等を対象としたメーリングリスト拡充のためのチラシ制作

(3) 対話型鑑賞ツアー学校連携事業

委託料：2,200,000 円（NPO 法人取手アートプロジェクトオフィス）

取手市立全小学校の3年生を対象に、たいけん美じゅつ場の作品を、アートコミュニケータと子ども同士での対話を通じて鑑賞し、子どもたちの主体的な学びを引き出した。なお、たいけん美じゅつ場での鑑賞ツアー実施前に各小学校で事前学習を実施した。

(4) 東京芸術大学連携事業

委託料：〈2,000,000 円〉

東京芸術大学大学美術館取手館開館 30 周年及び取手収蔵棟竣工を記念して、芸大取手コレクション展 2025 を開催した。

会期	会場	内容	入場者数
11/13～ 11/30	芸大美術館 取手館	芸大取手コレクション展 2025	2,582 人

(5) 井野アーティストヴィレッジ

賃借料：5,855,640 円

東京芸術大学と市が連携し、空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟を UR 都市機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供した。

- ・UR 都市機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして提供。
- ・7 戸のうち 1 戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担。
- ・1 戸につき 2 人以上、利用期間 2 年。
- ・地域との交流及びオープンスタジオ開催を条件としており、11 月 23 日にオープンスタジオが開催され、スタジオ公開、作品展示、青空市でにぎわった。
- ・賃借人数

スタジオ名	101（管理運営）	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2 人	4 人	4 人	5 人	5 人	4 人	5 人

(6) 取手アートプロジェクト

補助金：4,240,000 円（取手アートプロジェクト事業運営補助金）

貸付金：1,350,000 円（取手アートプロジェクト実行委員会事業運営資金貸付金）

取手アートプロジェクト（TAP）は、平成 11 年度から市民・東京芸術大学・取手市の 3 者が連携協力して、地域の特色を生かした芸術活動を行っているプロジェクトである。

令和7年度事業	取手アートプロジェクトの事業主旨 芸術的活動を社会的課題に接続させることによるウェルビーイングの実現
開催期間	通年
主な事業内容	アートを核にした連携事業 ・大空凧プロジェクト：高須地域にて、ひだまりのひマルシェの開催と合わせて、大凧をあげた。

	・そうぞうする団地：井野団地にて地域住民とともに、ワークショップや作品展示などの活動を行った。 ・東京芸術大学取手キャンパス散歩ツアー：キャンパス内の美術館・収蔵棟の鑑賞や、地域の方と芸大教員・学生有志が関わるアートプロジェクトに触れるツアーを実施した。
--	--

(7) JOBAN アートライン協議会

負担金：300,000 円

JR 常磐線沿線の 4 区 4 市（台東区・荒川区・足立区・葛飾区・松戸市・柏市・我孫子市・取手市）と、東京芸術大学、そして JR 東日本が「アート」をキーワードとした協議会を構成。常磐線沿線のイメージアップや活性化を図る活動を通じて、それぞれの「街」や「人」をつなげていく取組をしている。

JR 東日本の忘れ物傘に自由に絵を描くワークショップと絵はがきコンテストを実施した。

(8) 作品修繕

修繕料：505,210 円

ストリートアートステージ作品や市長賞作品等、破損した美術作品の修繕を行った。

- ・彫刻作品「和 - NAGOMI - 」50,000 円
- ・彫刻作品「ここにある生活」125,210 円
- ・彫刻作品「平和な今の為のうそ」300,000 円
- ・工芸作品「尋常に」30,000 円

(9) 市所蔵アート作品の 3D コンテンツ追加

委託料：688,270 円

「とりでバーチャル美術館」に未掲載の芸術作品 13 作品の 3D 画像・360 度画像の撮影・データ加工・掲載をした。

○ 効果

東京芸術大学や様々な団体との連携により、他市町村にはない文化・芸術によるまちづくりの推進を図ることができた。

〔担当：文化芸術課〕 P. 437

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 13,361,065 円（14,725,228 円）

〔その他 8,635,800 円 一財 4,725,265 円〕

＊ 特財内訳

〔使用料：アートギャラリー使用料 378,000 円〕

〔使用料：市民ギャラリー使用料 82,800 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,770,000 円〕

〔諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 6,405,000 円〕

○ 目的

市民の芸術・文化交流の場である取手市ギャラリーを管理・運営し、芸術・文化の振興に寄与する。

○ 内容

(1) 取手市ギャラリーの管理運営

美術に関する作品等の発表及びその鑑賞並びに文化の交流の場を市民に提供し、芸術

及び文化の振興に寄与するため設置しているギャラリーの管理・運営をした。

- ・管理委託料・手数料：2,307,952 円（県・市シルバー人材センター）
- ・施設賃借料：9,685,308 円（アトレとりで4階：とりでアートギャラリー）

(2) 市主催事業の開催

事業名	開催日	会場	内容	入場者数
市所蔵作品展 取手市長賞作品展	市所蔵作品展 4/25～5/6 (12日間) 取手市長賞作品展 4/25～4/30 (6日間)	とりでアートギャラリー	「市所蔵作品展 画家のみた風景」は郷土作家の風景画を26点、「取手市長賞作品展」は令和6年度に取手市長賞を受賞した作品と過去に受賞した作品を併せて9点を展示した。	789 人
にこにこ元気なとりでっ子!! 作品展	8/8～8/19 (うち11日間)	とりでアートギャラリー	市内保育所、保育園、認定こども園、幼稚園21施設に通う4歳児、5歳児の絵画と立体工作物を合同で展示。併せて4か所の地域子育て支援センターの取組を紹介した。	1,690 人
取手郷土作家部門展 写真・デザイン	1/24～2/3 (11日間)	とりでアートギャラリー	部門ごとに市内作家の作品を広く集め展示する郷土作家部門展の第5回として、写真・デザイン部門の展覧会を開催した。	615 人

※その他、ギャラリーの利用のない期間を活用して、取手市長賞の作品を随時展示した。

(3) とりでアートギャラリー、市民ギャラリーの貸出し

市民の発表の場として、とりでアートギャラリー、取手駅東西連絡通路及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸出しを行った。

利用件数

ギャラリー名	R7	R6
とりでアートギャラリー	18 件	17 件
取手駅市民ギャラリー	35 件	40 件
藤代駅市民ギャラリー	24 件	24 件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与した。

〔担当：子ども青少年課〕 P. 439

3801 放課後児童対策事業に要する経費 276,859,318 円 (196,983,405 円)

〔国・県 112,817,000 円 地方債 21,800,000 円 その他 50,645,925 円〕

一財 91,596,393 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：子ども・子育て支援交付金 42,077,000 円〕

〔国補：子ども・子育て支援整備交付金 11,434,000 円〕

[県補：放課後児童対策事業補助金 5,795,000 円]
 [県補：子ども・子育て支援交付金 42,077,000 円]
 [県補：子ども・子育て支援整備交付金 11,434,000 円]
 [市債：社会福祉施設整備事業債 (34,493,000 円－22,868,000 円) ×80%＝
 9,300,000 円]
 [市債：こども・子育て支援事業債 13,931,000 円×90%≒12,500,000 円]
 [負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 43,705,350 円]
 [寄附金：教育費寄附金 200,000 円]
 [繰入金：公共施設整備基金繰入金 5,958,000 円]
 [繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 580,000 円]
 [諸収入：災害共済金 84,700 円]
 [諸収入：雇用保険料本人負担分 117,875 円]

○ 目的

市立小学校に通う全児童を対象とし、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などを通じて自主的に過ごせる場所を提供するとともに、多様な体験・交流活動等の機会を提供することで、児童の健全育成とウェルビーイングの向上を図る。

○ 内容

市内の全小学校全児童を対象に放課後や夏休み等の長期休業中における安全で安心な子どもの活動拠点を開設し、遊びや体験活動を通じて児童の健全育成を促進するとともに、子育て支援の充実を図っている。

藤代小学校放課後子どもクラブ室において、トイレの設置や室内改修工事を実施したほか、取手、取手西、山王、六郷、宮和田、久賀各小学校の放課後子どもクラブ室において、更新時期を迎えた空調機器の改修工事を実施し、利用児童の生活環境改善を図った。

また、各放課後子どもクラブに配置している主任支援員と定期的な課題共有や好事例の横展開を行う、主任支援会議の仕組みを設けたことに加え、支援の質の向上に向けた各種研修の充実を図ることで、連絡体制と組織体制の強化を進め、運営環境の平準化を進めた。

・放課後児童支援員報酬	119,037,090 円
・放課後子どもクラブ運營業務委託料	80,793,770 円
・芸術家パートナーシップ事業委託料	840,000 円
・藤代小放課後子どもクラブ室改修工事	35,409,000 円
・放課後子どもクラブ室空調設備改修工事	13,930,400 円

放課後子どもクラブ登録児童数（通常利用登録者）

令和 8 年 3 月 31 日現在（単位：人）

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合計
取手小	32	26	35	25	27	16	161
白山小	45	37	34	24	20	9	169
取手東小	74	48	42	40	23	11	238
寺原小	34	27	29	30	14	6	140
永山小	25	16	21	9	11	7	89

取手西小	34	26	31	23	12	5	131
戸頭小	45	38	27	25	7	2	144
高井小	94	90	59	38	30	8	319
山王小	15	13	13	10	11	3	65
六郷小	10	6	9	8	8	6	47
藤代小	47	36	38	25	12	13	171
宮和田小	36	25	24	21	8	2	116
久賀小	21	17	25	9	15	7	94
桜が丘小	32	28	23	9	20	8	120
合計	544	433	410	296	218	103	2,004

放課後子どもクラブ登録児童数（土曜日登録者） 令和8年3月31日現在（単位：人）

	取手東	高井	藤代	合計
取手小	17	0	0	17
白山小	10	2	2	14
取手東小	68	0	0	68
寺原小	3	12	0	15
永山小	0	6	0	6
取手西小	4	15	0	19
戸頭小	0	15	1	16
高井小	0	59	0	59
山王小	0	1	0	1
六郷小	0	0	0	0
藤代小	0	0	42	42
宮和田小	0	0	11	11
久賀小	0	0	5	5
桜が丘小	0	0	5	5
合計	102	110	66	278

※土曜日は取手東小、高井小、藤代小の3クラブで開所。

○ 効果

市内全公立小学校内に設けた14クラブの運営を通して、児童の健全な育成と子育て支援の充実を図ることができた。

ハード面においては、クラブ室や空調機器の改修工事を行うことで、利用児童の生活環境改善を図った。また、ソフト面においては、主任支援会議や各種研修等を通して支援に係る情報交換の活性化、現場職員の意識向上、連絡体制と組織体制の強化が進み、運営環境の一層の平準化が図られた。

〔担当：生涯学習課〕 P.441

4301 訪問型家庭教育支援事業に要する経費 418,740円（461,042円）

〔国・県 279,000円 一財 139,740円〕

＊ 特財内訳

〔県補：地域で支える家庭の教育力向上事業費補助金 279,000円〕

○ 目的

地域の子どもは地域社会全体で育てるという考え方に立ち、地域の人材を活用した家庭教育支援チームが家庭に支援を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支える。

○ 内容

- (1) 支援方法 訪問型家庭教育支援チームによる情報提供
- (2) 実施対象 市校長会から推薦された小学校7校（取手小、白山小、取手東小、六郷小、藤代小、桜が丘小、久賀小）の小学1年生児童を持つ保護者（324名）など
- (3) 実施内容 ①保護者からの相談への対応
②保護者に対する情報提供
- (4) 実施結果

学校名	対象人数	面談者数	面談割合
取手小学校	36名	32名	88.9%
白山小学校	59名	49名	83.1%
取手東小学校	91名	87名	95.6%
六郷小学校	12名	12名	100%
藤代小学校	55名	54名	98.2%
桜が丘小学校	44名	43名	97.7%
久賀小学校	27名	25名	92.6%
合計	324名	302名	93.2%

○ 効果

対象校7校で支援員による個別家庭訪問を実施し、家庭に家庭教育の情報を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えることができた。

5 社会教育費 2 公民館費

〔担当：生涯学習課〕 P.445

2101 公民館活動に要する経費 1,393,519 円（1,395,482 円）

〔その他 72,000 円 一財 1,321,519 円〕

＊ 特財内訳

〔諸収入：公民館講座受講料 72,000 円〕

○ 目的

市内には、学習活動や地域づくりの中心的役割を担う公民館が14館あり、地域に即した生涯学習施設として活用されている。それぞれの地域ニーズに合わせた魅力ある事業を展開し、地域の生涯学習の拠点として、より一層の充実を図る。

○ 内容

市内各地域の公民館において、幅広い年齢層を対象とした講座や講演会等を開催することで地域の人たちが身近に参加でき、学べる機会を提供した。また、子どもたちに安心して過ごせる場所やイベントへの参加機会を提供し、子どもたちの公民館の利用促進を図るために、新たな取組として公民館子どもの居場所づくり事業を実施した。

- ・報償費 984,237 円（各公民館講師謝礼等）

<主な事業>

事業名	期間	回数 (回)	受講者数 (人)	事業内容及び結果
女性学級 (5 学級)	通年	各学級 10～12	93	様々な出会いを大切に、視野を広げ、楽しく学習しながら豊かな人間性を培い、学級生相互の交流を深めた。
高齢者学級 (4 学級)	通年	各学級 10～12	254	高齢者が心豊かに生きられるように、健康・趣味・体験活動等を通して、社会情勢に必要な物の見方や考え方、生きがいを見いだした。
ペタンク大会	5 月、10 月	2	130	スポーツ（ペタンク）を通じて、世代間相互の交流を図った。
自習室の開放	7～8 月	-	146	夏休み期間中子どもたちを対象に、4 公民館（小文間、寺原、永山、藤代）で図書室や会議室を自習室として開放した。
夏休み小学生書道教室	8 月	2	39	2 公民館（小文間、藤代）で小学生を対象に書道教室を行った。
宿題をやろう！ (小学生の宿題サポート教室)	8 月	1	38	中学生のサポートを得ながら小学生が書道・絵画・工作の宿題ができる場所を提供した。
夏まつり	7～8 月	2	1, 212	2 公民館（高須、久賀）で夏まつりを開催し、地域住民の交流を深めた。
永山・戸頭地域親善 ゲートボール大会	10 月	1	21	永山・戸頭地域のゲートボール愛好者の親善、健康増進、技術の向上を目的に大会を開催した。
公民館まつり	2～3 月	12	6, 517	公民館利用団体が学習成果を展示・発表し、地域住民間の交流促進を図った。

・各公民館利用状況

公民館名	年度	利用件数（件）	延べ利用者数（人）
中央公民館	R7	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	R6		
小文間公民館	R7	1, 113	8, 883
	R6	1, 128	8, 198
永山公民館	R7	2, 637	29, 972
	R6	2, 650	29, 560
寺原公民館	R7	2, 184	25, 673
	R6	2, 010	25, 222
井野公民館	R7	3, 556	59, 852
	R6	3, 531	52, 820
戸頭公民館	R7	3, 704	52, 391
	R6	3, 671	59, 470
白山公民館	R7	1, 720	24, 892
	R6	2, 201	32, 560

藤代公民館	R7	3,153	36,472
	R6	2,906	34,502
山王公民館	R7	877	7,766
	R6	754	6,471
六郷公民館	R7	762	8,843
	R6	718	8,809
相馬公民館	R7	988	8,605
	R6	1,093	9,541
相馬南公民館	R7	1,277	12,219
	R6	1,330	13,243
高須公民館	R7	472	5,032
	R6	506	6,168
久賀公民館	R7	736	8,462
	R6	795	7,389
合計	R7	23,179	289,062
	R6	23,293	293,953

○ 効果

地域の特色を生かした学級・講座等の事業を開催し、内容の充実を図ったことで、利用者の教養の向上と健康の増進に寄与することができた。

【担当：生涯学習課】 P. 447

2301 公民館施設整備に要する経費 59,099,513 円 (8,115,965 円)

〈616,000 円〉※〈 〉は、うち6年度繰越分

[地方債 33,400,000 円 その他 19,809,000 円 〈616,000 円〉一財 5,890,513 円]

* 特財内訳

[市債：公民館施設整備事業債 44,640,000 円×75%≒33,400,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 15,399,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,794,000 円]

[繰越金：前年度繰越金 〈616,000 円〉]

○ 目的

公民館施設の適切な整備及び工事を行い、市民の利用環境を整える。

○ 内容

市内公民館施設の破損箇所や異常箇所の修繕及び工事を実施し、施設整備を行った。また、老朽化した空調設備の改修工事やWi-Fi 機器設置を行った。さらに、老朽化が進んでいる井野公民館改修工事の実施に向け、実施設計業務を委託した。

(1) 委託料

- ・井野公民館改修工事实施設計業務、白山公民館 Wi-Fi 設定業務委託料

8,361,430 円

(2) 修繕料

- ・永山・戸頭公民館の PAS 及び高圧引込ケーブル修繕、各公民館施設の修繕

9,480,280 円

(3) 工事請負費

- ・白山公民館空調設備改修工事、白山公民館 Wi-Fi 機器設置工事

38,623,665 円

〈永山公民館コンデンサー取替工事〉

〈616,000 円〉

○ 効果

各公民館の老朽化した附帯設備等の修繕に加え、永山・戸頭公民館の PAS 及び高圧引込ケーブルの修繕、白山公民館の空調設備改修・Wi-Fi 機器設置工事等を行い、利用者の利便性の維持・向上に寄与した。

5 社会教育費 3 図書館費

〔担当：図書館〕 P.449

2001 図書館管理運営に要する経費 61,537,193 円 (27,890,252 円)

〔地方債 25,500,000 円 その他 8,600,000 円 一財 27,437,193 円〕

＊ 特財内訳

〔市債：図書館施設整備事業債 34,100,000 円×75%≒25,500,000 円〕

〔繰入金：公共施設整備基金繰入金 8,600,000 円〕

○ 目的

利用者に安全で快適な環境を提供するため、適切な施設の維持管理を図る。

○ 内容

改修等が必要な箇所について、所要の改修を行った。

事業名	内容	金額（単位：円）
ふじしろ図書館エレベーター改修工事	設置後 23 年が経過したエレベーター 2 基の主要部品が供給終了となるため、計画的に改修工事を実施した。	34,100,000

○ 効果

利用者に安全で快適な環境を提供するため、改修等については緊急性や効果を考慮しながら実施し、諸設備の機能回復及び保全を図ることができた。

〔担当：図書館〕 P.449

2101 図書館活動に要する経費 112,627,460 円 (106,252,490 円)

〔その他 9,988,419 円 一財 102,639,041 円〕

＊ 特財内訳

〔手数料：コピー手数料 63,330 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 9,070,000 円〕

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 155,089 円〕

〔諸収入：ネーミングライツ料 700,000 円〕

○ ネーミングライツ設定施設 ※（ ）はネーミングライツパートナー名

・愛称 常陽建設ふじしろ図書館（常陽建設株式会社）

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応する読書環境の整備及び図書館事業の充実並びに効果的な図書館資料の提供に努める。

○ 内容

(1) 主な事業

・学校図書館－市立図書館連携事業（ほんくる）の運用

本の魅力を発信する図書館 Web サービス及び学校図書館と市立図書館とのシステム連携並びに図書配送サービスの運用を行った。

- ・ 図書館システム賃借料 33,363,756 円
- ・ 図書配送業務委託料 6,949,800 円
- ・ 電子図書館システム使用料 4,680,283 円
- ・ 学校との連携、学校図書館への支援
 - 学校司書研修会（3 回）
 - 蔵書点検の指導・実施（20 校）
 - 図書館システム活用・運用についての指導（随時）
 - 学校訪問おはなし会（22 回）
 - 放課後子どもクラブ訪問おはなし会（18 回）
 - ほんくるレクチャー（59 回）
 - 学校へのリサイクル図書配付（358 冊）
- ・ うちどく（家読）
 - 地域・家族の絆づくりの事業として家庭での読書の普及啓発を図った。
 - うちどくメール定期便配信（年 6 回）
 - うちどくおすすめ絵本通信「よもっと」発行（年 4 回）
 - 小学校保護者へ「Home&School」（メール）でうちどく情報配信（年 6 回）
- ・ 子育て支援
 - ブックスタート事業（年 24 回実施・459 冊配付）
 - 乳幼児・児童向け読み聞かせ
 - こども発達センターおはなし会（2 回）
 - 子育て支援センター（4 か所）へおすすめ本をセットで貸出し
 - 保育所等へのリサイクル図書配付（244 冊）
- ・ 読書バリアフリー資料の展示（年 1 回）
- ・ ユニバーサルおはなし会（1 回）
- ・ 図書館だより配信（メールマガジン）（12 回）
- ・ 中高生向け本の情報紙「ほんバナ」発行（年 4 回）・学校配付・ホームページ掲載
- ・ 図書館まつり 取手図書館（5/25）・ふじしろ図書館（11/23）
- ・ 特別展示「効き目ほんわか こころのお薬 100 冊 2025」（8/1～9/28）
 - 自殺予防週間に合わせ、いのちやこころについて考えるための図書の展示や情報提供を実施した。
- ・ 読書支援機器の貸出・展示（8 月～12 月、貸出 7 回、展示 4 回）
 - 筑波技術大学の読書支援機器貸出事業「みかん箱プロジェクト」に参画し、読書支援機器セットを団体に貸出し、展示した。
- ・ ネーミングライツによる備品等の購入
 - ふじしろ図書館 1 階キャレルデスク椅子購入 594,000 円
 - ふじしろ図書館利用者用消耗品等の購入 106,000 円
- ・ 第 14 回手づくり布の絵本全国コンクール入賞作品「カップレもち」展示（3 回）
 - 図書館ボランティア団体が制作した布芝居「カップレもち」が同コンクールで審査員特別賞を受賞したことを記念して受賞作品を展示した。
- ・ かっぱのおはなし会（3/26）

同上コンクール受賞を記念し、かっぱにまつわるおはなし会を実施した。

- ・元 TBS アナウンサー斎藤哲也氏による「じもと朗読会」(3/21)

取手市出身の斎藤哲也氏による朗読会、アナウンサーの仕事についての講演を開催した。

(2) 登録者数

(単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6 歳	7～ 12 歳	13～ 15 歳	16～ 18 歳	19～ 22 歳	23～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60 歳 ～	合計
R7	365	4,426	2,300	608	1,253	2,409	3,114	4,304	4,432	11,277	34,488
R6	377	4,490	2,357	633	1,396	2,549	3,313	4,600	4,505	11,543	35,763
R5	417	4,613	2,480	1,310	1,549	2,663	3,542	4,911	4,490	11,772	37,747
R4	442	4,700	2,504	920	2,366	3,949	5,181	6,688	5,622	14,599	46,971
R3	469	4,854	2,669	2,446	2,432	3,726	4,991	6,743	5,185	13,911	47,426

(3) 利用状況

- ・入館者数

館名	入館者数 (単位：人)				
	R7	R6	R5	R4	R3
取 手 図 書 館	116,064	117,496	118,048	115,020	106,842
ふ じ し ろ 図 書 館	125,154	123,577	125,155	114,932	112,046
合計	241,218	241,073	243,203	229,952	218,888

- ・館別貸出者数

館名	貸出者数 (単位：人)				
	R7	R6	R5	R4	R3
取 手 図 書 館	51,366	53,161	52,724	52,922	54,860
ふ じ し ろ 図 書 館	45,979	47,969	49,381	48,704	50,821
戸 頭 公 民 館 図 書 室	24,044	25,313	25,121	25,032	25,650
小文間公民館図書室	446	424	418	469	325
寺原公民館図書室	4,667	4,680	4,840	4,831	4,887
永山公民館図書室	1,640	1,554	1,487	1,352	1,433
ゆうあいプラザ図書室	2,490	2,597	2,863	2,889	3,120
井 野 公 民 館	2,415	2,453	2,507	2,716	2,704
取 手 駅 前 窓 口	7,752	6,802	7,048	7,040	8,418
山 王 公 民 館	190	148	148	100	124
六 郷 公 民 館	256	301	303	333	500
相 馬 南 公 民 館	1,188	1,210	1,142	1,197	1,329
学 校 配 送	小学校	2,006	1,800	1,871	2,002
	中学校	412	463	390	476
合計	144,851	148,875	150,243	149,962	156,801

- ・貸出冊数 (個人貸出)

館名	貸出冊数 (単位：冊)				
	R7	R6	R5	R4	R3
取 手 図 書 館	179,683	188,407	190,134	195,464	201,263
ふ じ し ろ 図 書 館	166,682	170,498	177,849	181,573	187,053
戸 頭 公 民 館 図 書 室	72,985	78,503	79,306	80,606	80,551
小文間公民館図書室	771	849	815	934	658

寺原公民館図書室		10,249	10,261	10,380	10,531	10,476
永山公民館図書室		3,779	3,615	3,771	3,564	3,877
ゆうあいプラザ図書室		6,263	6,853	7,987	8,005	8,350
井野公民館		4,523	4,479	4,716	5,367	5,281
取手駅前窓口		15,145	13,027	13,658	13,483	16,836
山王公民館		423	321	349	187	207
六郷公民館		524	649	605	675	937
相馬南公民館		2,106	2,306	2,133	2,325	2,788
学校配送	小学校	4,876	4,014	3,118	3,374	4,227
	中学校	963	1,154	385	320	781
合計		468,972	484,936	495,206	506,408	523,285

・予約提供状況

予約件数（単位：件）	R7	R6	R5	R4	R3
	123,489	123,349	122,662	123,623	135,422

○ 効果

学校図書館と公共図書館連携事業「ほんくる」の利用拡大のため、各小中学校へ出向き、利用方法を案内する「ほんくるレクチャー」を実施したことにより、小学生の貸出冊数の増加が図られた。また、「ほんくる」を基盤としたうちどく（家読）の普及・啓発を図りつつ子どもの読書への関心を高めることができた。

「みかん箱プロジェクト」に参画し読書支援機器の貸出・展示を行うことにより、視覚に障がいのある方や読みづらさを感じている方にも読書を楽しんでいただけるよう、読書バリアフリーの推進を図る足がかりをつくることができた。

また、ネーミングライツ料を活用して備品等を購入し、利用者の利便性を図ることができた。

市民のより良い読書環境を整備し、利用者のニーズに対応したサービスを提供することができた。

【担当：図書館】 P. 451

2201 図書館資料購入に要する経費 32,037,096 円（31,968,638 円）

〔その他 23,192,422 円 一財 8,844,674 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 23,110,000 円〕

〔諸収入：図書弁償金 49,190 円〕

〔諸収入：広告掲載料 33,232 円〕

○ 目的

市民の図書館資料に対する幅広いニーズに応える。

○ 内容

規定の収集方針に基づき図書館資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・令和7年度館別購入実績

館名	図書		雑誌	
	購入数 (冊)	購入金額 (円)	購入種類	購入金額 (円)
取手図書館	4,626	10,993,612	64誌	719,003
ふじしろ図書館	4,932	10,128,774	76誌	918,662
戸頭公民館図書室	1,849	3,878,090	24誌	329,605
合計	11,407	25,000,476	133種類	1,967,270

館名	新聞		AV	
	購入種類	購入金額 (円)	購入数 (点)	購入金額 (円)
取手図書館	14紙	468,000	55	95,279
ふじしろ図書館	13紙	540,060	111	535,117
戸頭公民館図書室	10紙	331,200	13	32,048
合計	19種類	1,339,260	179	662,444

※新聞の購入種類は同紙名の夕刊も1紙とし、合計欄は全館での紙名数を記載

・館別蔵書数（各年度末日現在）

館名	図書（単位：冊）				
	R7	R6	R5	R4	R3
取手図書館	143,600	143,382	141,245	139,867	138,203
ふじしろ図書館	134,210	134,168	135,668	137,819	144,232
戸頭公民館図書室	56,647	57,163	57,450	57,585	56,837
小文間公民館図書室	2,257	2,320	2,272	2,361	2,268
寺原公民館図書室	4,882	5,079	4,920	4,840	4,650
永山公民館図書室	4,944	4,730	4,718	4,561	4,303
ゆうあいプラザ図書室	11,234	11,069	10,947	10,327	10,761
合計	357,774	357,911	357,220	357,360	361,254

館名	雑誌（単位：タイトル数）				
	R7	R6	R5	R4	R3
取手図書館	82	80	77	78	80
ふじしろ図書館	80	78	80	80	81
戸頭公民館図書室	25	25	24	25	26
合計	187	183	181	183	187

館名	AV（単位：点）				
	R7	R6	R5	R4	R3
取手図書館	979	914	854	903	861
ふじしろ図書館	6,073	5,992	5,968	5,905	5,771
戸頭公民館図書室	374	360	332	285	227
合計	7,426	7,266	7,154	7,093	6,859

○ 効果

各館の特長を活かしながら利用者のニーズに合わせた蔵書構成を目指した。また、図

書館まで足を運ぶことができない子どもや高齢者でも利用しやすい地域の公民館など、読書施設の蔵書更新を図った。

5 社会教育費 4 文化財保護費

〔担当：生涯学習課〕 P.453

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 9,712,025 円（11,068,203 円）

〔その他 5,690,000 円 一財 4,022,025 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,450,000 円〕

〔諸収入：本陣駐車場使用料 240,000 円〕

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	来場者	内容
R7	週 3 日 (金・土・日)	150 日	2,759 人	・修復工事のビデオを随時放送した。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行える体制を整えた。
R6		150 日	2,645 人	

(2) 管理・運営経費

・一般公開に関する主な経費

内訳	支出額
本陣一般公開管理派遣業務手数料	3,071,475 円

・維持管理に関する主な経費

内訳	支出額
修繕料(駐車場転落防止壁修繕、消火栓ホース交換)	161,700 円
庭園管理委託料	1,523,500 円
史跡指定地・駐車場賃借料	3,579,727 円

○ 効果

旧取手宿本陣の一般公開を行うことで、歴史や文化財に対する市民の関心を高めるとともに、見学者の約 7 割を占める市外からの訪問者が取手市の魅力を再発見することに寄与できた。

〔担当：生涯学習課〕 P.457

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 954,947 円（918,008 円）

〔その他 600,000 円 一財 354,947 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 600,000 円〕

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料の収納、整理、研究を実施する。これらの成果を市民に紹介するため、企画展・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心を高めるとともに、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1) 年間来館者数

年度	R7	R6	R5	R4
来館者数	2,858 人	3,052 人	3,481 人	2,763 人

(2) 展示活動

展示名	埋蔵文化財センター第 55 回企画展「文化財に託されたおもい」
期間	8/19～10/26 会期日数 59 日
来館者数 [1 日平均]	844 人 [14.3 人]
主な経費	・印刷製本費 325,600 円（ポスター、解説図録など）
内容	全国でも数少ない市指定有形文化財「絹本金箔地刺繍釈迦涅槃図」の詳細調査成果を中心に、市内の指定・登録文化財を紹介した。 (1) 講演会「取手市指定文化財の寛文九年刺繍釈迦涅槃図について」 10/5、10/18 講師 近江礼子氏 総参加者 94 名 (2) 指定文化財解体復原工事記録映像上映会 8/31、9/15、9/23、10/19 総参加者 38 名 (3) 県・市指定「旧取手宿本陣染野家住宅」ガイド付き見学会 8/30、9/14、9/20、10/11 案内 埋蔵文化財センター職員 総参加者 39 名

展示名	埋蔵文化財センター第 56 回企画展 「地域の遺跡シリーズ 1 小文間地区の遺跡」
期間	2/17～4/26 会期日数 60 日（3/31 までの会期日数 37 日）
来館者数 [1 日平均]	988 人 [16.5 人]（3/31 まで 575 人 [平均 15.5 人]）
主な経費	・印刷製本費 363,000 円（ポスター、解説図録など）
内容	市内の遺跡や出土資料を、地域ごとに紹介する地域の遺跡シリーズ第 1 弾として、小文間地区を取り上げた。 (1) 考古学講座 「小文間地区の遺跡」 3/8 講師 埋蔵文化財センター職員 参加者 41 名 (2) 小文間地区遺跡ツアー 3/7、3/15 講師 埋蔵文化財センター職員 総参加者 44 名

○ 効果

市民の郷土史、市内文化財への関心を高めるとともに、文化財保護行政に対する理解を深めることに寄与した。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

〔担当：スポーツ振興課〕 P. 461

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,000,000 円 (9,240,000 円)

〔その他 5,040,000 円 一財 3,960,000 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：地域振興基金繰入金 5,040,000 円〕

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
スポーツ協会	26 部	3,584 人	スポ協親睦会・講演会の開催、視察研修、各種講習会の開催、機関誌の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	10 連盟 33 単位団	指導者 97 人 団員 1,000 人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各種講習会・研修会への参加

○ 効果

スポーツ協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。また、スポーツ少年団が青少年のスポーツ指導に加え、スタートコーチ養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

〔担当：スポーツ振興課〕 P. 461

2002 社会体育振興関係経費 1,528,376 円 (957,512 円)

〔その他 1,060,000 円 一財 468,376 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,060,000 円〕

○ 目的

市民が選択・参加できるスポーツ活動の向上を目指す。

○ 内容

市民の健康保持・増進のため運動習慣を身につけられるようスポーツ機会の提供を行った。令和7年度はウォーキング大会、ソフトボール大会、グラウンドゴルフ大会、ドッジボール大会、マラソン大会を実施したほか、市制施行 55 周年記念事業として、取手カルチャーロゲイニングと、ドローンサッカー体験会を実施した。

- ・取手カルチャーロゲイニング運営業務委託料 494,450 円
- ・ドローンサッカー体験会委託料 220,000 円

○ 効果

多くの参加者が集まり、ロゲイニングやドローンサッカーなど市民にとって新たなスポーツ活動の選択機会を提供することができた。

〔担当：スポーツ振興課〕 P.463

2401 中学校部活動地域移行事業に要する経費 12,147,880 円 (7,255,670 円)

〔国・県 8,264,000 円 一財 3,883,880 円〕

＊ 特財内訳

〔県委：部活動地域移行実証事業再々委託料 8,264,000 円〕

○ 目的

少子化や教職員の働き方改革が進む中、地域の中学校部活動の維持が難しい状況になってきていることから、地域のスポーツ文化活動を多様かつ持続可能に整備することで、子どもたちの健全育成を図り、学校教育の向上につなげる。

○ 内容

令和５年度に、取手市部活動地域移行推進協議会を設置し、国や県が示すガイドラインをもとに、市内中学校の部活動や地域特性に合わせた、休日における中学校部活動の段階的な地域移行の推進を図った。令和７年度は、野球２クラブ、剣道３クラブ、男子バスケットボール、女子バスケットボール、女子バレーボール、空手、柔道の各１クラブの運動クラブと、吹奏楽２クラブの文化クラブ、計１２クラブに拡大しモデル事業を行った。

・会計年度任用職員報酬（共済費含む）	3,081,496 円
・地域部活動指導員謝礼	6,940,529 円
・中学校部活動地域移行事業推進協議会委員謝礼	95,400 円
・地域クラブで使用する消耗品費	714,110 円
・賠償保険料	254,646 円

○ 効果

休日の中学校部活動を地域のクラブへと移行したことによって、生徒たちがスポーツを継続して活動できる環境を確保することができた。

6 保健体育費 2 体育施設費

〔担当：スポーツ振興課〕 P.463

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 251,971,888 円
(259,258,552 円)

〔地方債 78,800,000 円 その他 27,816,000 円 一財 145,355,888 円〕

＊ 特財内訳

〔市債：グリーンスポーツセンター整備事業債

105,116,000 円×75%≒78,800,000 円〕

〔繰入金：公共施設整備基金繰入金 26,316,000 円〕

〔諸収入：ネーミングライツ料 1,500,000 円〕

○ ネーミングライツ設定施設 ※（ ）はネーミングライツパートナー名

<令和７年度>

・愛称 TAC 取手グリーンスポーツセンター（株式会社東京アスレティッククラブ）

<令和８年度>

・愛称 JSPI 取手グリーンスポーツセンター

（特定非営利活動法人日本スポーツ振興協会）

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行い、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

指定管理者制度により令和３年度から令和７年度まで TAC・HBS・アクアライフグループ共同事業体が管理運営する。

- ・指定管理料 122,452,900 円（別途、光熱水費高騰分 13,630,000 円）

(1) 利用状況

（単位：人）

施設名	R7	R6	増 減
室内プール	123,250	124,264	△1,374
遊水プール	14,742	12,510	2,232
第一体育室	51,785	49,871	1,914
第二体育室	9,696	9,963	△267
トレーニング室	49,303	48,970	333
柔道場	14,058	14,017	41
剣道場	8,749	9,036	△287
弓道場	13,668	13,048	620
健康相談室	338	419	△81
スポーツ障害相談室	872	756	116
研修室	16,039	12,892	3,147
会議室	1,036	1,069	△33
和室	475	569	△94
その他	18,575	15,725	2,850
合 計	322,586	313,469	9,117

(2) 委託料

- ・プール観覧席空調設置工事实施設計業務委託料 1,848,000 円
- ・樹木病虫害被害対応業務委託料 2,200,000 円

(3) 工事請負費

- ・中央監視装置更新工事 26,730,000 円
- ・グリーンスポーツセンター改修工事 76,538,000 円
（真空式温水発生機改修工事）

(4) 備品購入費

- ・プール更衣室ロッカー 1,347,500 円

○ 効果

利用者の様々なニーズに応えることにより、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。また、ネーミングライツ料を活用して、老朽化が著しいプール更衣室ロッカーの更新を行い、利用者が快適に使用できる環境を整えた。

〔担当：スポーツ振興課〕 P.465

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 47,550,519 円（50,055,163 円）

〔その他 8,379,168 円 一財 39,171,351 円〕

＊ 特財内訳

〔使用料：藤代スポーツセンター使用料 8,363,670 円〕

[手数料：コピー手数料 130 円]

[諸収入：印刷機使用料 15,368 円]

○ ネーミングライツ設定施設 ※ () はネーミングライツパートナー名

・愛称 FUYOU アリーナ藤代（芙蓉エクセル株式会社）

○ 目的

生涯スポーツ及び健康づくりの施設として、また、憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適で安全な施設でスポーツを楽しむ場を提供する。

○ 内容

(1) 利用状況

(単位：人)

施設名	R7	R6	増減
アリーナ	28,999	26,607	2,392
レクリエーション室	5,051	4,930	121
多目的グラウンド	5,035	5,583	△548
野球場	9,797	7,855	1,942
テニスコート	10,601	10,877	△276
広場（ピクニック広場、クレア広場）	3,130	3,717	△587
会議室	477	358	119
合計	63,090	59,927	3,163

(2) 施設維持・管理経費

・総合体育館設備保守・清掃業務委託料	10,989,000 円
・屋外施設管理業務委託料	5,445,000 円
・庭園管理業務委託料	7,713,200 円

(3) 工事請負費

項目	契約金額	契約期間	内容
藤代スポーツセンター 野球場本部席空調機 設置工事	1,012,000 円	令和7年8月28日～ 令和7年11月28日	熱中症対策として本部席にエアコンを設置し、利用者の利便性・快適性の向上に努める。

○ 効果

施設の安全や環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ振興課] P.469

2402 社会体育施設管理に要する経費（旧取手一中体育施設） 229,479,397 円
(3,265,422 円)

[地方債 226,700,000 円 一財 2,779,397 円]

* 特財内訳

[市債：緊急防災・減災事業債 226,710,000 円×100%≒226,700,000 円]

○ 目的

生涯スポーツ及び健康づくりの施設として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適で安全な施設でスポーツを楽しむ場を提供する。また、体育館耐震補強・大規模改修工事を行い、市民の健康促進やスポーツ振興を図る施設として活用する。

○ 内容

(1) 利用状況（グラウンド）

項目	R7	R6	増減
利用団体数	6 団体	6 団体	0
登録人数	162 人	201 人	△39

(2) 施設維持・管理経費

- ・雨水貯留槽等点検管理業務委託料 385,000 円
- ・樹木剪定草刈清掃等業務委託料 1,617,000 円

(3) 工事請負費

- ・体育館耐震補強・大規模改修工事 226,710,000 円

○ 効果

樹木剪定及び草刈清掃の実施により、利用者の安全性や快適性、美観の向上が図られた。

また、工事工程の見直しを行った結果、翌年度へ工期が一部延長されたものの、新たな社会体育施設として広く市民に開放するため、旧取手一中体育館の耐震補強及び大規模改修工事を着工することができた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

〔担当：保健給食課〕 P. 471

2001 給食センター運営に要する経費 141,171,429 円（130,577,151 円）

〔その他 120,814,639 円 一財 20,356,790 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,700,000 円〕

〔諸収入：幼稚園給食代 856,002 円〕

〔諸収入：小学校給食代センター分 78,260,121 円〕

〔諸収入：中学校給食代センター分 38,998,516 円〕

○ 目的

子どもたちに安全な食材による給食を提供することで、園児・児童・生徒の望ましい食習慣の形成を図るとともに、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

消耗品費 5,415,428 円

賄材料費 122,912,000 円

○ 効果

地産地消食材を使用した献立や SDGs 献立による給食を提供し、子どもたちに給食を通して食への関心を深めることができた。

〔担当：保健給食課〕 P. 473

2003 物価高騰に伴う給食費負担軽減事業に関する経費 35,729,713 円

(21,634,785 円)

〈35,675,000 円〉※ 〈 〉 は、うち 6 年度繰越分

〔国・県 30,090,000 円 〈30,042,000 円〉 その他 〈5,633,000 円〉 一財 6,713 円〕

＊ 特財内訳

[国補：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 48,000 円]

[国補：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 (30,042,000 円)]

[繰越金：前年度繰越金 (5,633,000 円)]

○ 目的

食材費が高騰する中、保護者に負担増を求めず現在の栄養のバランスや質、量を保った給食を提供する。

○ 内容

賄材料費 35,729,713 円

○ 効果

食材の価格高騰による影響を給食費に転嫁することを避けながら、給食の質と量を維持し、学校給食を提供することができた。

[担当：保健給食課] P.473

2101 給食センター施設整備に要する経費 70,526,833 円 (65,018,704 円)

[地方債 18,500,000 円 その他 6,250,000 円 一財 45,776,833 円]

＊ 特財内訳

[市債：給食センター整備事業債 24,750,000 円×75%≒18,500,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 6,250,000 円]

○ 目的

学校給食センターの給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、当該施設の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

主な経費

(1) 需用費

項目	内容	金額 (円)
光熱水費	都市ガス代、水道料、電気料	15,452,258
修繕料	調理機器及び施設修繕料	1,562,469

(2) 委託料

項目	内容	金額 (円)
給食運搬業務委託料	各学校への給食配送業務	16,335,000
学校給食センター施設管理業務委託料	調理機器の保守点検及び施設の維持管理費、生ごみ収集運搬・リサイクル処理業務	10,990,401

(3) 備品購入費

項目	内容	金額 (円)
蒸気回転釜 7 台	経年劣化した蒸気回転釜、野菜切機（サイノ目切機、卓上野菜調理機）の更新	24,750,000
野菜切機 2 台		1,423,400

○ 効果

学校給食センター内の衛生管理、施設管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。